

イベント 2021年12月、2022年1・2月

◎…定員 ①…参加料金 ②…申込方法

Q どうしよくぶつたいけん 動植物体験プログラム

プロジェクト・ワイルド 自然発見塾

野生の生きものを楽しく学びます。
12月11日(土)、1月8日(土)、
2月12日(土) 13:00~14:30
◎各日20名 ①100円/人 ②事前電話予約



ムササビ観察会

さぬきの森で、ムササビの観察会を実施します。
12月11日(土) 16:00~18:00
◎20名 ①100円/人 ②事前電話予約



里山自然観察会

バードウォッチング
自然生態園、さぬきの森を散策しながら野鳥の観察をします。
1月23日(日) 10:00~12:00
◎20名 ①無料 ②事前電話予約



田んぼの生きもの探検隊(冬編)

冬の田んぼに棲んでいる生きものを観察します。
2月11日(金祝) 13:00~15:00
◎20名 ①100円 ②事前電話予約



冬芽の観察会

冬芽をさがしながら自然生態園を散策します。
2月19日(土) 13:00~15:00
◎20名 ①無料 ②事前電話予約



かえるの卵の数を調べよう 2月23日(水祝) 10:00~12:00

この時期に産卵するカエルの卵塊数を調査します。◎5組 ①100円 ②事前電話予約

てづく たいけん 手作り体験プログラム

里山生活体験 うどんをつくろう

自分でうどんを作り、味わおう！
12月25日(土)、1月9日(日)、2月13日(日)、
2月20日(日) 10:00~13:00
◎各日4組 ①200円/玉 ②事前電話予約



石うすできな粉飴をつくろう

大豆をひいてきな粉を作り、きなこ飴にします。
2月5日(土) 10:00~、11:00 13:00~、14:00~
◎各回3組 ①300円/袋 ②事前電話予約



落ち葉かきと焼き芋

みんなで落ち葉を集めて、焼き芋を食べます。
1月29日(土) 10:00~12:00
◎20名 ①200円/人 ②事前電話予約



さとやまでんしょうたいけん 里山伝承体験

竹細工をしよう

貯金箱、竹トンボなど竹を使って作る体験をします。
12月12日(日)、1月30日(日)、
2月23日(水祝)
10:00~12:00、13:00~15:30
◎各回25名 ①100円/作品 ②当日受付



おばあちゃんの古里教室

ジャムをつくろう

園内で取れた果実を使ってジャム作りの体験をします。
12月2日(木) 13:00~15:00
◎6名 ①200円/人 ②事前電話予約

かざり 飾り羽子板をつくろう

干支にちなんだ寅の羽子板を作ります。
12月18日(土) 13:00~15:00
◎10名 ①600円/作品 ②事前電話予約



ネイチャークラフト お正月飾りをつくろう

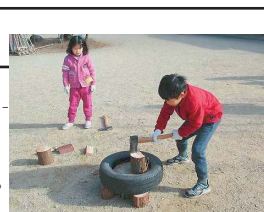
自然の素材を使ってお正月飾りを作ります。
12月19日(日) 10:00~12:00、13:00~15:00
◎各回20名 ①300円/作品 ②事前受付



もり たいけん 森の体験プログラム

それゆけ！きこり探検隊 ヒノキの新割り体験&焼き芋づくり

親子で斧を使った新割り体験と焼き芋づくりをします。
12月11日(土) 10:00~12:30
◎20名 ①200円/人 ②事前電話予約



ふゆ やちよう かんさつ 冬の野鳥観察&シイタケ管理

親子で野鳥観察とシイタケの菌打ち体験をします。
2月12日(土) 10:00~12:30
◎20名 ①200円/人 ②事前電話予約



バイオネスト(生きもののすみかをつくろう)

さぬきの森で間伐材や落枝、落ち葉を使いバイオネストづくりをします。落ち葉を使った焼き芋体験も実施します。◎10名 ①200円 ②当日受付
1月30日(日) 10:00~12:00

た その他

自然生態園かるた大会 1月2日(日)、1月3日(月) 13:00~

自然生態園やさぬきの森にちなんだかるたをします。◎各日10名 ①無料 ②当日受付

あそ 遊びの楽校

竹馬、竹トンボ、羽根つきなど懐かしい昔遊びを体験できます。12月25日(土)~1月10日(月祝) 10:00~16:00

うさぎのもぐもぐタイム 平日 11:00~

うさぎさんにエサやり体験ができます。◎各日5組 ①無料 ②当日受付



自然生態園 さぬきの森

2021年12月、2022年1・2月 かわら版 冬号 Natural Ecological Garden Sanuki Woods

ガイドプログラム 参加無料

※入園料・駐車料金が別途必要となります。

しぜんせいいたいえん 自然生態園ガイドウォーク

インタープリターと一緒に楽しく自然生態園を散策します。
土日祝 10:30~12:00、13:30~15:00

※但し、年末年始(1/2~1/9)を除く。
◎各回10名 ①当日受付



もり さぬきの森ガイドウォーク

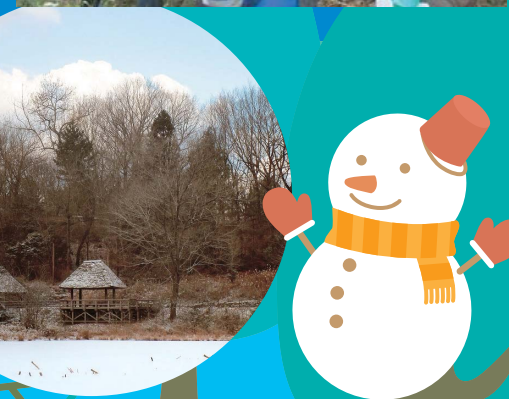
インタープリターが普段公開していないエリア(入退園申請エリア)を案内します。

12月26日(日)、1月22日(土)、
2月20日(日)
10:30~12:00、13:30~15:00
◎各回10名 ①当日受付

こはんゆうほどう 湖畔遊歩道ウォーク

まんのういけてんぼうゆうほどう あるみずきかん 満濃池展望遊歩道を歩きながら、水や木に関する環境教育プログラムを実施します。

◎定員 ①申込方法 ②集合場所
12月4日(土) 10:30~12:00
◎20名 ①当日受付



あなたも自然を伝える活動に参加しませんか！

インタープリター・ボランティア養成講座

目的 インタープリター活動に興味がある方に、気軽に活動を体験し、活動内容をご理解いただく講座です。
募集 随時受付 対象 高校生以上の方
年間を通じての養成講座にて、自然に対する興味を深めると同時に、インタープリター・ボランティアとして活動するための知識・技術を学びます。

インタープリターとは

「自然案内人(しぜんあんないにん)」です
インタープリターは、一般的に〈通訳〉と表現されていますが、国営讃岐まんのう公園では園内の自然や歴史・文化を知識のみではなく、その背景にあるメッセージを含めてわかりやすく伝える人をインタープリターと呼んでいます。

新型コロナウイルス感染防止のため、ご理解ご協力をお願いします。

- 体調不良の場合には来園をお控えください。
- マスクの着用をお願いいたします。
- 手洗い・手指の消毒をお願いいたします。
- 人と人との間隔を空けてご利用ください。

このかわら版は、「まんのう公園インタープリター・ボランティアの会」、「国営讃岐まんのう公園さぬきの森の会」の皆様のご協力を頂いております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベントは変更または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

国営讃岐まんのう公園 自然生態園

〒766-0023 香川県仲多度郡まんのう町吉野4243-12
各種イベントの事前ご予約はこちらまで！ Facebookはこちらから！

0877-79-1807

FAX: 0877-79-1704
ホームページ: https://sanukimannopark.jp



さぬきの森の会 会員募集

国営讃岐まんのう公園さぬきの森で、森づくりや森林体験イベントなどの活動を行う「さぬきの森の会」の会員を募集中です。興味のある方、詳しい内容を知りたい方は、是非、自然生態園までご連絡ください。

自然生態園 さぬきの森

冬

お客様へお願い

- 動物物は、管理されているため採取は禁止となっております。
- 自然環境を保つため、かぶれやすい木やマムシ、スズメバチなど危険な動物も生育・生息しています。ご注意ください。
- 生態系保護のためペット類の持ち込みはできません。
- 足元は、ウォーキングに適した靴を履いてください。
- さぬきの森へは、閉園1時間前までにお入りください。お車、自転車の入場はできません。

風景

アカマツ林 常盤木の丘

さぬきの森 常盤木の丘
さぬきの森周辺は、昔からアカマツが多いエリアでしたが松くい虫により多くのマツが枯れてしまいました。松くい虫に強いマツの苗木を植えて元のような立派なアカマツ林の再生を行っています。

動物

ミヤマホオジロ

12月～3月 / 自然生態園・さぬきの森
冬鳥。林の周りの草むらでチッチッと鳴いていて、頭の羽が冠のように立ち黄色い模様が特徴です。草の中を歩きながら、草のタネや虫を食べています。

動物

ルリビタキ

12月～3月 / 自然生態園・さぬきの森
冬鳥。オスは写真のような「青い鳥」ですが、このような色になるには生後4～5年かかります。メスや若いオスは、地味なオリーブ色です。

植物

ソゴ

12月～3月 / 自然生態園・さぬきの森
常緑広葉樹で、冬でも緑色の葉をつけています。赤い実はよく目立ち、野鳥たちにとって冬の間の貴重な食べ物となっています。

植物

ヤブツバキ

2月～3月 / さぬきの森
山地に生える常緑の高木または低木です。2～3月頃に赤色の花を咲かせます。蜜が豊富なので、メジロなどが吸蜜に訪れます。

植物

コバノガマズミ

11～2月 / 南の台地、逆様池周辺
赤く色づいた実は、甘酸っぱく、野鳥たちの大好物。食べられた実の中にある種子は糞といっしょに地面に落ちて、春にはそこから新しい芽を出します。

動物

セトウチ サンショウウオ

1月～2月 / 南の谷、東の谷
体長10～12センチくらいの小型のサンショウウオ。ニホンアカガエルと同じように、一旦冬眠から目覚めて産卵します。卵は水中の小枝や石に産み付けられます。

動物

アオサギ

1月～ / 南の谷・逆様池
正面からは白く見えますが、横からは灰色に見えます。成鳥では首が白く、頭に黒い冠羽があります。首や足が長く(首を縮めているものもいる)、長めの鋭いくちばしで、魚などをとります。

動物

ニホンアカガエルの卵塊と成体

2月～3月 / 北の谷、南の谷
冬の夜、いったん冬眠から目覚めて田んぼや湿地の水たまりに卵を産みます。一匹のメスの産む卵は400～700個で、産卵後は暖くなるまでふたたび冬眠につきます。

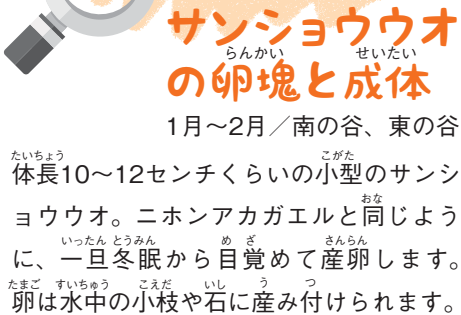
動物

アオサギ



動物

セトウチ サンショウウオ



昆虫

キタキチョウ

自然生態園全域
成虫越冬する蝶です。冬の間は草陰などで身を潜めてじっとしています。早春の暖かな日にはスミレなどで吸蜜する姿が観られます。



- 見どころ
- 散策路(土)
- 散策路(舗装等)
- 階段
- サイクリングコース
- 自動車道路
- 入退園申請エリア入口
- 健脚コース(急な上り下りのあるコース)
- 位置確認サイン(現地に設置しております)
- 案内所
- 非常電話
- 駐車場
- トイレ
- 多目的トイレ
- 自転車置き場
- 身障者用駐車場

アクティビティ

ジャコウウシの作戦

- 参加者に世界最北端に生息するジャコウウシについて解説し、その生態について理解を深めてもらいます。ジャコウウシは、氷点下40℃でも生きられる強い牛です。
- 参加者の中から、ジャコウウシのメス4、オス2、子ウシ3の家族とオオカミ1を募ります。メス200kg、オス400kg、子10kg。オオカミが子牛を狙いに来ると、メスは、子を取り囲み、オスは円陣の外でオオカミと戦うことを前提に、それぞれのルールを説明します。ジャコウウシは、えさのチップを3個とらないと生きていけません。メスは、円陣を組むと足は固定、上半身、肩しか動かせず、オスは、円陣から1歩前で時計回りにしか回れません。子牛は、両手をメスの肩に乗せ、バンダナを腰にぶら下げます。オオカミは、バンダナを腰にぶら下げ、自由に動くことができます。オス牛をかくぐり、子牛のバンダナを取ると食べたことになるが、オス牛にバンダナを取られたら死ぬことになります。
- 制限時間を設け、子牛が食べられたり、オオカミが死ぬとゲーム終了。
- ジャコウウシとオオカミそれぞれの意見を問う。お互いが生き残るためには、どうすればいいのかをみんなで考えてみましょう。実際は、オスもメスもオオカミに立ち向かうのですが…。

トピックス

自然生態園の田んぼ

自然生態園では、南の谷にある田んぼで稲(古代米)を栽培しています。この田んぼでは、里山の生態系をより豊かにするために様々な工夫をしています。

- 冬水田んぼ / 一般的な日本の田んぼでは、田植えのあとは、多くの収穫を得るために水を管理しています。秋の収穫時期には、作業がしやすいように水を抜き、春まで水を入れることはありません。自然生態園では、稲刈りが終わった後も田んぼに水を入れておき、冬でも水をいれたままにしています。これを「冬水田んぼ」といい、冬の水辺に卵を産む生きものや田んぼに生息する多くの生きものたちが命を繋ぐ環境をつくっています。(2月に観察会を実施)
- 不耕起栽培 / 一般的な日本の田んぼでは、春になると冬の間に水を抜いていた田んぼを耕します(田起こし)。田植えの前には、水持ちを

良くして稲の苗が均等に育つように、田んぼに水を入れて土を細かく砕く作業(代掻き)を行います。自然生態園の冬水田んぼでは、カエルの卵やオタマジャクシのほか、様々な水生昆虫やメダカが活動しています。田んぼの土も田植えに最適な状態を保たれていることから、この環境を守るため、田んぼを耕さずにそのままの状態で行う不耕起栽培を行っています。

- 無農薬等 / 農薬や化学肥料は一切使っていません。田んぼに生えてくる他の植物は、すべて手作業で草抜き作業を行っています。自然のままの稲作を行うことで、生きものが豊かな田んぼとなっています。

このような田んぼのお話についても、土・日・祝日に開催しているガイドウォークで解説をしています。是非、自然生態園を散策しながら、なつかしい讃岐地方のため池のある里山をお楽しみください。

